

とら こちら奈良市東部出張所です5

目次：P1 東部出張所からのお知らせ P2 さとやま体験事業・アライグマ対策のお知らせ P3 地域おこし協力隊 畑隊員 P4 地域おこし協力隊 森川隊員

こんにちは。東部出張所所長補佐の岡田康彦です。本年度も引き続きよろしく願いいたします。

4月1日付の人事異動により、藤原所長補佐が河川耕地課課長補佐に転換されました。後任の配置がなく1名の職員減となりましたが、東部地域の皆さまが安心して暮らしていただけるよう、親切丁寧な対応を目指してまいります。

今月は、八十八夜について少しお話させていただきます。立春から数えて88日目を「八十八夜」（はちじゅうはちや）と言います。

「なつ〜も〜ち〜かづ〜く は〜ちじゅ〜う は〜ち〜や」という茶摘みの歌にもあるように、昔はこの頃を春と夏の境目として、新茶を摘んだり種まきをしたりする農業の目安ともしていました。

八十八は組み合わせると「米」という字になることや、末広りの「八」が重なることから、豊作や長寿を願う大切な日としてお祝いされていたそうです。八十八夜は立春の日付やうるう年かどうかで日付が変わりますが、だいたい5月2日あたりになります。2025年の八十八夜は、5月1日（木）です。

また、初物（はつもの）のお茶を飲むと、1年間無病息災で過ごせるとの言い伝えもあるそうですよ。

引き続き東部出張所は、地域課題の解決に向け取組んでいきますのでご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

東部出張所所長補佐 岡田康彦

東部出張所からのお知らせ

雷から身を守るために

雷雲は積乱雲と呼ばれる強い上昇気流によって鉛直方向に著しく発達した雲です。雷鳴が聞こえるなど、雷雲が近づく様子があるときは、落雷が差し迫っています。以下のことを念頭に置いて速やかに安全な場所へ避難することが、雷から身を守るために有効です。

雷に遭遇した場合は安全な空間へ避難

雷は雷雲の位置次第で、海面・平野・山岳などところを選ばずに落ち、近くに高いものがあるとこれを通して落ちる傾向があります。グラウンドやゴルフ場、田畑などの開けた場所や、山頂や尾根などの高い所では人に落雷しやすくなるのでできるだけ安全な空間に避難してください。林や森の中も危険です。

安全な空間

鉄筋コンクリート建築、自動車（オープンカーは不可）などの車両の内部は比較的安全です。木造建築の内部も基本的に安全ですが、全ての電気機器、天井・壁から1m以上離れたほうが更に安全です。

安全な空間へ避難できない場合の対応

近くに安全な空間が無い場合は、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところ（保護範囲）に退避します。高い木の近くは危険ですから、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上は離れてください。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにします。雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間へ移動します。

（雷から身を守るにはー安全対策Q&Aー：日本大気電気学会から引用）



パンフレット
紹介ページ



<https://www.city.nara.lg.jp/site/naraharu/233805.html>

夏のキャンペーンのお知らせ

キャンペーン参加者大募集！！

昨年度に実施しました、小学生を対象にした東部地域のイベント「奈良さとやまSUMMERキャンペーン2025」を、この夏も開催します！

このキャンペーンでは「夏休みの宿題と、夏の思い出作り」をテーマにした体験メニューの紹介や、8月に体験ブースを集めたフェスタ等を行う予定です。東部出張所では、このキャンペーン開催に向けて、夏休みの宿題や思い出作りにぴったりな体験企画にご参加いただける方や、イベント情報等をご提供いただける方を募集しています。ご興味をお持ちの方は、お気軽に東部出張所までお問い合わせください。皆さまからのご連絡をお待ちしています。詳細は次月以降にお知らせします。

奈良さとやま SUMMER キャンペーン 2025 7/19（土）～8/31（日）

① 夏休みの体験メニュー

日程：7/19（土）～8/31（日）
場所：東部地域各所
内容：東部地域で体験できるメニューの紹介

② 夏休み宿題フェスタ2025

日程：8/2（土）
場所：満天ひろば＆東部地域各所
内容：【満天ひろば】体験ブースを集めたイベントの開催
【東部地域各所】同日にて体験イベントの実施

参加者募集について

① 夏休みの体験メニュー

提供期間：7/19（土）～8/31（日）内のいずれかの日
申込期限：5/11（日）まで
体験例：木工・工作体験、収穫体験、お菓子作り
生き物観察 など

② 夏休み宿題フェスタ2025

実施日時：8/2（土）
申込期限：5/11（日）まで
実施場所：下記いずれかの場所
A 満天ひろば（水間町3031）
B 東部地域（田原・柳生・大柳生・東里・狹川・都祁・月ヶ瀬）
体験例：木工・工作体験、収穫体験、お菓子作り
生き物観察 など

詳しくはHPまたは東部出張所までお問い合わせください。
東部出張所 ☎93-0001
HP <https://www.city.nara.lg.jp/event/naraharu/235153.html>



③ 夏休み特別体験ツアー

日程：7/19（土）～8/31（日）
場所：東部地域各所
内容：東部地域の里山ならではの特別な体験ツアーの実施

④ 東部地域各地のイベント・行事紹介

日程：7/19（土）～8/31（日）
場所：東部地域各所
内容：期間中に開催される地元の盆踊りや夏祭りなど
地域ならではのイベントの紹介

アライグマ被害対策コーナー

令和7年3月にアライグマをテーマにした有害鳥獣対策セミナーを実施しました。このコーナーでは、セミナー内で講師の先生よりお聞きした内容をご紹介します。

アライグマは増加傾向

北アメリカ原産で肉、野菜、果実、昆虫など何でも食べる雑食性の動物。天敵のいない日本の環境では子どもの死亡率も低く、年に約4頭産むため、オス・メス1頭ずつだったものが、20年後には約38,000頭になると推計される。奈良市でも捕獲数が増加しており、平成29年の約320頭に対し令和6年は約850頭まで増加している。

放置すればどんどん
数が増えていきます

一番の有効な対策は捕獲です

アライグマ捕獲檻の貸出について

東部出張所では捕獲檻の貸出を行っております。ご希望の方は東部出張所までご連絡ください。

捕獲について

捕獲檻の設置 爪痕や頻繁に足跡が見られる場所から通行ルートを特定

【通行ルートの特徴】

- 池の周りなどの水辺
- ヤブの中を通ることは少ない
- 四方が開きされている場所
- 塚などは迂回することが多い
- 水路脇や水路の中

◇ 設置の注意点

- 水平に設置しぐつかないようにする
- 檻の入り口はアライグマの目線で視界を遮るものが無いようにする
- ルートが特定できる場合は入口が通行ルートに面するように置く
- 1週間経過して檻に立ち寄った形跡がない場合は場所を変更する
- 設置後は必ず毎日点検する

◇ 誘因餌の選択

檻の周辺・・・コーン菓子、ドッグフード、豆などの粒状のもの
檻の中・・・インスタントラーメン、リンゴなどの果物、唐揚げ等

捕獲檻に捕まった場合

奈良市農政課までご連絡ください ☎34-5142
※捕獲檻に近づいたり、手を入れたりすることはしないで下さい



過去の誌面

畑
隊員

■ 4月の活動報告&5月の予定



お米の種まき、粃まき。

稲の種まきを見学できる機会がありました。数粒ずつポットに埋めるのかと思っていたら、均等にばら撒ける、こんな便利な機械があるんですね！その名も、ばらまき機！！
☺️写真で丸く囲ったハンドルをくるくる回すと、土を入れた箱が動き、均等にお米粒が落ちてきます。私はこの箱を途切れないように次々と乗せていく係を体験しました。土なのでまあまあ重い。お米粒が並んだら、同じ要領で土を被せます。小一時間で出張所へ戻りました。数日後にはもう芽が出てきたとの連絡がありました。新緑かわいい
♡この季節がいちばん好きです♪

今年もやります！やりましょう！

昨年度の夏に開催した「奈良さとやまSummerCampaign2024」。今年も開催が決定しました。収穫体験や手仕事体験などを通して、東部地域の良さを地域外の人にも知っていただく！ファンを増やそう！というイベントです。昨年は夏休み期間中に約1000人にご来場いただきました。多くの来場者が、涼しさに喜び、風景に癒され、また来たいと仰ってくださいました。東部地域の何気ない日常が、市街地の方にとっては特別な出来事だったりするのです。このイベントは、開催者側が地元の良さに気づける機会でもあります。夏休み期間中に1日でも体験を提供、または、お手伝いしてくださる方を募集しています。私達や地域の方たちと一緒に、参加者をおもてなししませんか★

東部出張所の窓口やメール（toububr@city.nara.lg.jp）にて、お問合せお待ちしております。



昨年のパンフレットです

5月の活動予定 (4/18現在)

- ・地域のイベントへの参加、取材
- ・SNS配信
- ・さとやま体験事業の推進
(夏のキャンペーン企画・運営)

森川
隊員

■ 息子たちと一緒に舞楽法要

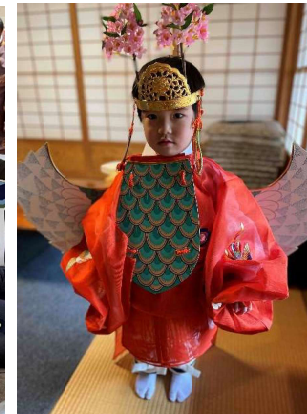
朝晩は冷えるものの、日中は春の暖かな陽気に包まれる日が多くなりました。

東部地域に住み始めて2か月一。日々、地域の素晴らしい方々にお会いし、幸せな時間を過ごさせていただいています。

私生活では、3月30日、大柳生・阪原町にある南明寺で息子たちと舞楽法要に参加し、「蘭陵王」を拝観しました。米田弘雅住職のご厚意で息子たちは「胡蝶」と「迦陵頻伽（かりょうびんが）」の装束をつけ、簡単なお手伝いをさせて頂きました。豪華絢爛な蘭陵王に圧倒され、笙や箏の音色に時間や場所の感覚がなくなった、心地良いひと時でした。



長男 胡蝶



次男 迦陵頻伽



岩手県の保育園で絵本の読み聞かせ

■ 地域での活動で大切にしている想い

さて、協力隊の活動をするにあたって、一つ大切にしていることがあります。それは「自分がわくわくできるかどうか」です。以前協力隊で住んでいた岩手県花巻市で地域の方がかけてくださった言葉です。「自分のわくわくできるもの、心に響くものに全力を尽くさない。それは必ず周りにも伝わります」

岩手県では、留学の経験を活かし、保育園で英語の歌を歌ったり、絵本の読み聞かせを行ったりしました。東部地域のこども園でも、子供たちが英語に触れる機会を作りたいと思っています。実施に向けて準備をすすめております。

話は変わって、4月5、6日に開催された柳生さくら祭りで協力隊の畑隊員と一緒にハンドマッサージ講座を開きました。素人のマッサージながら、受けてくださった皆様は、「とても気持ちよかった」と言葉をかけてくださいました。私はこの経験から、「多くの人が、心身の触れ合いや安心感を求めているのではないか」と感じました。地域おこし協力隊の活動の一つとして、引き続き地域の皆様にハンドマッサージができれば幸いです。

5月の活動予定 (4/18現在)

- ・地域へのごあいさつまわり
- ・地域のイベントへの参加、取材
- ・SNS配信
- ・地域の集まる場作りの企画検討・準備